

経営理念

私自身、好きな言葉に「甦る（よみがえる）」があります。

「甦る」とは、「更に生きる」と書きます。大切な資源を利用して出来た製品をただ単に使用済みとして焼却、埋め立てるのではなく、さらなる寿命を延ばす、これこそがリサイクルを表しているのではないのでしょうか。

当社は、昭和36年の創業以来リサイクルの仕事に携わってきました。古紙に始まり、現在は産業廃棄物の廃プラスチック類、紙くず、繊維くず、木くずのリサイクルに業容を拡げています。

古紙は製紙原料として、単一素材のプラスチックは再生ペレット、不織布は反毛をして自動車の内装材の原料に再生しています。再生に不向きなプラスチック類は、難再生古紙、繊維くず、木くずなどと破碎・混合・成形してRPF（固形燃料）に加工し、石炭代替燃料として二酸化炭素削減に役立っています。

私達は、廃棄物のリサイクルの推進とゼロエミッションの実現に向け邁進し、循環型社会の構築に取り組みます。

代表取締役 海田 周治

廃棄物の有効利用

「ゴミを資源に変える」これが当社の基本姿勢です。

紙・廃プラスチック等の廃棄物を95%以上の割合でリサイクルしています。

環境負担の軽減

固形燃料「RPF」は化石燃料（特に石炭）の代替として使用されます。発生熱量は石炭と同等ですが、CO₂及び酸性雨の原因であるSO_x、NO_xの発生が抑制され、また焼却後の灰分も少ないので環境負担が軽減されます。

地球にやさしいRPF

産業廃棄物をRPFとしてリサイクルすると、化石燃料の節約や埋立処分場の延命になります。また、RPFは燃料としても安価・高品位です。

CO₂を約30%削減

RPFは石炭の代替燃料として使用されますが、石炭と比較して、単位熱量当たり約30%の二酸化炭素排出量を削減します。

	単位発熱量 MJ/kg	トン当たりCO ₂ 排出量 t-CO ₂ /t	熱量当たりの CO ₂ 排出割合
RPF	25.0	1.57	69.2
輸入一般炭	25.7	2.33	100

単位発熱量：RPFについては、JIS規格RPF-Aの規格値を設定しました。

輸入一般炭の発熱量は、資源エネルギー庁「2005年以降適用する標準発熱量の検討結果と改訂値について」より出典。

CO₂排出量：「温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度」（平成18年4月1日施行、環境省、経済産業省）における算出方法、排出係数に基づいています。

灰分が少ない

私どものRPFの灰分は4%～6%程度、石炭（11%～15%）の半分以下です。灰の処分費用が軽減されます。

品質管理

私どもは、RPFの品質管理で最も重要な塩素濃度について、ユーザー様へ速報をお届けしています。蛍光X線分析装置を2台備え、出荷翌日～翌々日には分析結果を報告します。

会社概要

■会社名 エビス紙料株式会社

- 本社所在地 〒769-1615 香川県観音寺市大野原町丸井 817 番地 22
- 役員
 代表取締役 海田 周治 (昭和 63 年 9 月 20 日就任)
 取締役 海田 次朗 (平成 17 年 8 月 10 日就任)
 取締役 見澤 直人 (平成 21 年 2 月 15 日就任)
 監査役 見澤 友香 (平成 15 年 10 月 31 日就任)
- 創業 昭和 36 年 1 月
- 会社設立 昭和 63 年 9 月
- 資本金 1000 万円
- 主要取引銀行 株式会社 百十四銀行

■事業内容

1. 製紙原料の販売
2. 繊維原料の販売
3. 一般廃棄物及び産業廃棄物の収集運搬、
処理及び再生並びに再生品の販売
4. 合成樹脂の油化、成型、加工及び販売
5. 掲示板の製作及び販売
6. 前各号に付帯する一切の業務

■産業廃棄物処分業

許可番号

香川県 03727001100 (固形燃料化、切断、圧縮、反毛)
 取り扱う廃棄物 (廃プラ、紙くず、繊維くず、木くず)
 (動植物性残さ、ゴムくず)

愛媛県 3825001100 (破碎、圧縮・・・固形燃料化)
 取り扱う廃棄物 (廃プラ、紙くず、繊維くず、木くず)
 (動植物性残さ、ゴムくず)

■産業廃棄物収集運搬業

許可番号

香川県 03707001100
 高松市 09703001100
 愛媛県 3805001100
 松山市 8901001100
 徳島県 3600001100
 金沢市 06000001100
 滋賀県 02501001100
 京都府 02600001100
 東大阪市 6800001100
 大阪府 02700001100
 京都市 06500001100
 姫路市 07003001100
 愛知県 02300001100
 名古屋市 06400001100
 兵庫県 02804001100

■産業廃棄物処理施設

許可番号
 (愛媛県) 16 廃第 9-7 号、16 廃第 9-8 号
 (香川県) 21-7-054

【平成 22 年度処理実績】

- RPF の製造 月平均 3,000 トン
- 再生ペレット製造 月平均 600 トン

沿革

- 1961 年 1 月 大阪市西区南堀江 1 丁目においてエビス紙料を創業
- 1975 年 11 月 大阪市西区南堀江 3 丁目 (旧本社所在地) に移転
- 1981 年 7 月 大阪市西区南堀江 4 丁目に倉庫新設
- 1986 年 1 月 香川県観音寺市大野原町に営業所開設
- 1988 年 9 月 エビス紙料株式会社に法人成り
- 1992 年 4 月 香川県観音寺市大野原町に四国工場新設 (旧営業所移転)
- 1998 年 6 月 四国工場増設
- 2000 年 12 月 四国で初めて四国中央市川之江町に固形燃料製造、愛媛工場を新設
- 2002 年 11 月 ISO14001 取得
- 2002 年 12 月 観音寺市にリサイクルセンター (固形燃料製造) 竣工
- 2005 年 9 月 四国中央市川之江町に愛媛工場移転
- 2010 年 4 月 四国工場隣接地に固形燃料製造新工場 竣工
- 2010 年 10 月 外部認証 "エコステージ 1" 取得
- 2010 年 11 月 大阪市西区から香川県観音寺市大野原町に本社移転
- 2010 年 12 月 エコテック四国工場に新工場増設



主要取引先

- 大手衛材メーカー各社
 大手製紙会社各社
 不織布製造会社各社
 紙加工会社各社
 プラスチックメーカー各社
 大手専門商社
 各種製造会社
 廃棄物処理関連業者 等

